

フッティルーテン (沿岸急行船)



WORLD'S CRUISE OPERATORS ①⑦ — HURTIGRUTEN by Michio Yamada

山田 廸生 (日本海事史学会理事)

フッティルーテン (Hurtigruten) は、ノルウェーの沿岸航路を経営する船会社の共同運航体である。ノルウェー語の辞書を引くと、Hurtigrutenは「ノルウェー沿岸の急行船」とある。

本来は内航生活航路であるが、世界で最も自然が美しい航路といわれていることから、欧米の船旅ファンに人気があり、毎年夏になると観光目的の旅客が殺到し、キャビンの確保がむずかしいという。

そこで1990年代からクルーズ船タイプの新型船が登場し、母港のベルゲンを発着する11泊12日のラウンド・トリップが可能になった。ダグラス・ワードのクルーズ・ガイドブックも、フッティルーテンをクルーズとして紹介している。さらに日本に代理店 (ソムラーレ コーポレーション) があり、予約が簡単にできるようになったことから、このシリーズで取り上げることにした。

32港に寄港する「海の路線バス」

ノルウェーは北緯58度から71度にまたがる南北に細長い国であり、国土の3分の1は北極圏に入っている。こう書くとたいへん寒い土地のようだが、メキシコ湾流が沿岸を流れているので、緯度の割には暖かく、最北端まで行っても港は凍結しない。

細長い国土の西寄りはずべて海に面している。しかも山が多くて平地が少なく、海岸線は複雑。氷河によってできたフィヨルドが内陸の奥深く入り込んでいる。こういう土地では船は重要な交通手段である。

なかでも、西海岸第一の都会ベルゲンと北極海に面し

フィヨルドを航行するフッティルーテンのリッカルド・ヴィット Richard With. 90年代シリーズの一隻である。(HURTIGRUTEN)

たロシア国境の港町キルケネスを往復するフッティルーテンは、この国の南北を結ぶ海の幹線ルートであり、年間を通してデイリー運航されている。

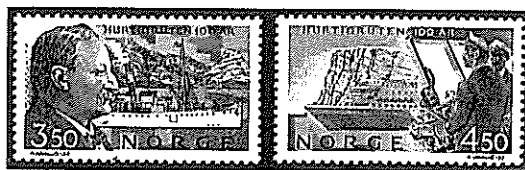
なにしろ北極圏内に位置するボーダーから北は、鉄鉱石の積出港のナルヴィクにスウェーデン側から鉄道が来ていることを除けば鉄道が走っていない。だから冬場などはフッティルーテンが一番頼りになる。

ちなみに夏季のスケジュールを見ると、北航便はベルゲンを夜10時に出発し、7日目の朝に最北端のキルケネスに到着する。片道6泊 (南航便は5泊) の船旅である。その間に立ち寄る港の数は実に32港にのぼる。まさに「海の路線バス」である。

当然寄港時間は短く、入ったらすぐに出発である。だが大きい港では相応の寄港時間があり、観光上陸も可能だ。フッティルーテンはそれをセールスポイントにしている。生活航路ではあるが、クルーズ船のように航海を楽しむことができるわけだ。

航路を開拓したリッカルド・ヴィット船長

フッティルーテンは1世紀を超える歴史を持っている。



1993年に発行された沿岸急行船100周年記念切手。左の図柄は第1船ヴェステローレンVesterålenとR. ヴィット船長である。

フッティルーテン客船一覧 (2004年現在)

船 名	竣 工 年	総トン数	船客 定員	乗用 車数	推進 機関	建 造 所	備 考
Lofoten	1964	2,621	184	—	D	Akers Mek	OVDS 運航
Narvik	1982	6,257	310	40	D	Akers Trondelag	OVDS 運航
Vesterålen	1983	6,261	310	40	D	Kaarboe	OVDS 運航。Narvik と同型
Kong Harald	1993	11,204	490	50	D	Stralsund Wolkverft	TFDS 運航
Richard With	1993	11,205	483	45	D	Stralsund Wolkverft	OVDS 運航。Kong Harald と同型
Nordlys	1994	11,204	482	50	D	Stralsund Wolkverft	TFDS 運航。Kong Harald と同型
Polarlys	1996	11,341	482	50	D	Ulstein Verft	TFDS 運航
Nordkapp	1996	11,386	481	45	D	Kvaerner Kleven	OVDS 運航
Nordnorge	1997	11,384	457	45	D	Kvaerner Kleven	OVDS 運航。Nordkapp と同型
Finnmarken	2002	15,533	643	50	D	Kleven Werft	OVDS 運航
Trollfjord	2002	16,140	674	50	D	Fosen Werft	TFDS 運航
Midnatsol	2003	16,140	648	50	D	Fosen Werft	TFDS 運航。Trollfjord と同型

注) 1. 船客定員はベッド数の合計。2. 推進機関 D:ディーゼル。3. TFDS: Troms Fylkes Dampskibsselskab。OVDS: Ofotens og Vesterålen Dampskibsselskab。

着想されたのは1891年。ノルウェー政府の海運アドバイザー、A. グラン (August K. Gran) が、船以外に有力な交通手段のないトロンヘイム～ハンメルフェスト間を高速の汽船で結ぼうと提案したのが発端である。

当時トロンヘイムから北の海域には灯台が28基あるだけで、海図は2枚しかなかった。荒天が多く、暗い冬場の海を航海するのはとても危険であった。

船長リッカルド・ヴィット (Richard With) による水路調査が、このプランを可能にした。彼はヴェステローレン諸島のストックマルクネスに本拠を置く VDS (Vesterålens Dampskibsselskab) の船長であった。

ヴィット船長と彼の部下たちはこの海域を徹底的に調査し、航路、航行スピード、時間などの正確なノートを作成した。そして安全な航海が見込まれた時点でノルウェー政府はVDSと4カ年の助成契約を結び、週1便の通年運航を命じた。1893年5月のことだった。

こうして沿岸急行船「フッティルーテン」が誕生した。最初の航路は、夏季がトロムヘイム～ハンメルフェスト間、冬季はトロムヘイム～トロムセー間であった。

1893年7月2日、第1船ヴェステローレンVesterålenがトロンヘイムを出航し、ハンメルフェストへ向かった。船を指揮したのはむろんヴィット船長である。

翌年にはベルゲンの老舗船社BDS (Det Bergenske Dampskibsselskab) もフッティルーテンに参加し、翌々年にはトロンヘイムのNFDS (Det Nordenfjeldske Dampskibsselskab) もこれに加わった。

以来現在に至るまで、8社が加入して5社が撤退したが、創業時のVDSは今もなおフッティルーテンの一員を構成している。ただし同社は1987年にODS (Ofotens

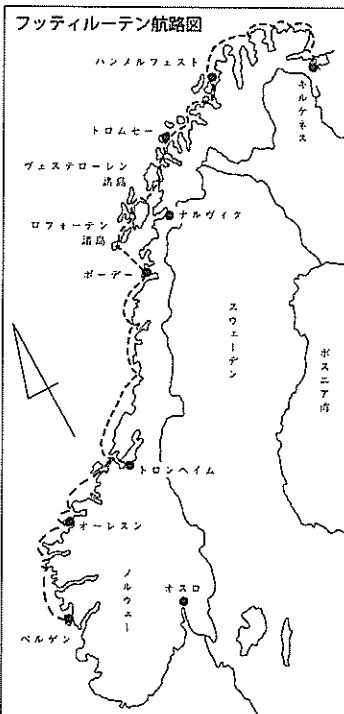
dampskibsselskab) と合併し、OVDS (Ofotens og Vesterådens Dampskibsselskab) となったので、旧社名は消滅した。ヴィットの名がOVDSの新型船に付与されているのはこのためである。

南のターミナル港がベルゲンになったのは開業5年後の1898年。北のターミナル港がキルケネスまで北上したのは第1次大戦が勃発した年である。

開業から現在までの1世紀余に、沿岸急行船として就航した船は70隻を超える。

ミレニアム／90年代シリーズ9隻が主力

フッティルーテンは現在、ナルヴィクのOVDSとトロムセーのTFDS (Troms Fylkes Dampskibsselskab)

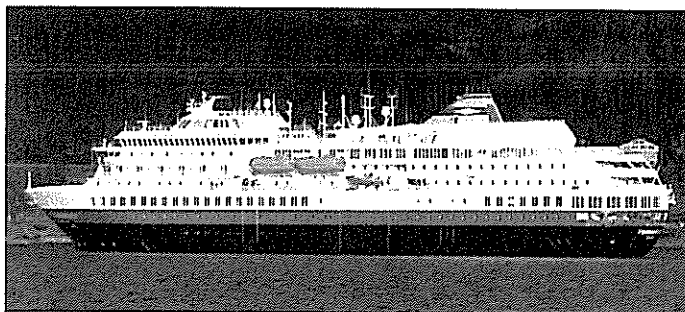


の2社で構成されている。運航船は12隻。往復12日、実質ワンラウンド10日16時間の航路をデリー運航しているので、少なくとも11隻が必要なわけだ。船社別の内訳はOVDSが7隻、TFDSが5隻である。

船のタイプはミレニアム・シリーズ（3隻）、1990年代シリーズ（6隻）、中間世代型（2隻）に大別される。いずれも車両甲板があり、乗用車を搭載できる。

これらに加えて旧世代の貨客船ロフォーテン Lofoten がまだ頑張っている。船も小さいし、相当な老朽船だが、欧米の船旅ファンはこの旧式の貨客船をわざわざ指定して乗船するというから面白い。むろん船隊の中核となっているのはミレニアム／90年代シリーズ9隻である。

フッティルーテンが船の近代化に着手したのは90年代に入ってから



2002年に竣工したミレニアム・シリーズの一隻フィンマーケンFinnmarken。船内設備が充実し、クルーズ船らしさが増している。(HURTIGRUTEN)



90年代シリーズのパノラマ・ラウンジ。ブリッジの直上に設けられている。(HURTIGRUTEN)

で、93年6月に登場したコング・ハラルKong Haraldがその第1船となった。この船は、フッティルーテンの創業100周年を記念して新造したものであった。ミレニアム／90年代シリーズは、基本的にはコング・ハラルのデザインが原点になっている。

新世代船フィンマーケンとはどんな船か

フッティルーテンの新世代船は一体どんな船であろうか。ミレニアム・シリーズの第1船フィンマーケンFinnmarkenを例にして、これを見てみよう。

サイズは全長138.5メートル、幅21.5メートル。主機は環境対応型ディーゼル(Wärtsilä)4基、2軸、2舵。航海速力15.5ノット。ノルウェーのクレーヴェン・ヴェルフトで建造されたもので、90年代に同じ造船所で誕生したノールカップNordkappの拡大改良型である。

客室甲板は7層(ノールカップは6層)。そのうち4層はキャビン、3層は公室エリア(一部キャビンあり)に当てられている。キャビンは全室シャワー、トイレ付きである。ベランダ付きのスイートも設けられたが、これはフッティルーテンでは初めてである。

公室エリアで魅力的なのは上層に展望ラウンジがあることだ。これは各船にもある。雄大な自然のもとで航海するフッティルーテンならではの公室である。ジャグジ、

一付きの屋外プールも設けられた。

別の公室甲板にはレストラン、カフェテリア、バー、プティックなどが並んでいる。レストランの席数は340席。食事は別料金であるが、ベルゲン発着のラウンド・トリップの場合は乗船料金に含まれる。

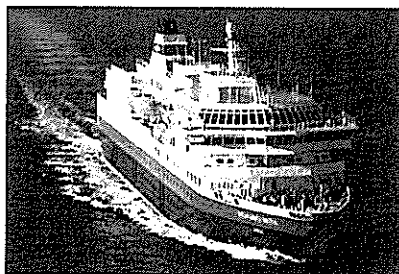
レストランの甲板には会議室が4室設けられており、多目的に使えるようにしている。公室エリアはキャビンなしの旅客の居場所にもなるから、相当なスペースが必要なわけだ。短距離客や若者たちにこうした旅客が多いという。ちなみにインテリアを担当したのは、フッティルーテンの専属デザイナーのA. ヨハンセン(Arne Johansen)で、アール・ヌーボーを基調とする落ち着いたデザインでまとめている。

ミレニアム・シリーズの後続船2隻(トルフィヨルドTrollfjord, ミッドナットソルMidnatsol)は建造所が別であり、フィンマーケンの同型船ではない。全長が若干短く、外形、内装なども異なる。スイートにはベランダに代わって出窓が付き、屋外プールはなくなった。航路環境に即した改良なのであろう。

フッティルーテンはかつて、冬季国際スポーツ大会のときに選手のホテルシップとして使われた。ノルウェー国民は、交通手段としてだけでなく、さまざまな機能をフッティルーテンに求めているのである。

ノルウェー北極圏ゴールデンルート

絶景のロフォーテン諸島とトロムソ



極北フィヨルドクルーズの旅

推薦ノスカンジナビア政府観光局

●お申込み・お問い合わせは

北欧旅行専門店

国土交通大臣登録旅行業第1394号

(株)フィンコーポレーション 〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 MTCビル9階

ホームページ www.nordic.co.jp/

Finn フィンツアー
Tour ☎ 03-3456-3933